



平成 15 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 イーピーエス株式会社
代表者の役職名 取締役社長 巖 浩
(登録銘柄 コード番号 4 2 8 2)
問い合わせ先 常務取締役 神宮 孝一
電 話 番 号 03 - 5684 - 7797 (代表)

国内外製品のライセンスサポート、医薬品開発全般における戦略薬事コンサルティング業務開始のお知らせ

当社は、海外を含む医薬品臨床開発に対する戦略的コンサルティング業務を下記の通り開始します。お知らせいたします。

1 概要

当社は1991年に創業以来、一貫して製薬企業の医薬品臨床開発業務をサポートしてまいりましたが、本年5月より、製薬企業の立場に立ったサービスの一環として、1つのシーズを商品化することを多方面からサポートする体制を構築いたしました。

臨床試験の先にある「販売」を視野に入れ、臨床試験全般における戦略薬事コンサルティングを行い試験受託体制の確立をサポート致します。

また、グローバル化への対応として、海外製品導入（または導出）における国内治験管理人・海外同時開発等の業務をサポートし、ライセンスサポート、コンサルティング、商品化・事業化に関するサポート、バイオベンチャーのコーディネイトをも視野に入れ、「事業戦略の中の臨床試験」をフルサポート致します。

これらサービスの拡充・強化により、当社は、縦の深化（戦略薬事のサポート）と、横の広がり（グローバル展開）をもった事業展開を推進してまいります。

2 サービスの内容

- 海外製品導入（または導出）における
 - ✓ 国内治験管理人・海外同時開発等、グローバル化への対応
 - ✓ ライセンシングサポート、コンサルティング
 - ✓ 商品化・事業化に関するサポート、コンサルティング
 - ✓ バイオベンチャーのコーディネイト
- 臨床試験全般における
 - ✓ 戦略薬事コンサルティング
(日、米、欧、オーストラリア、中国、韓国、シンガポール、台湾)
 - ✓ 試験受託体制の確立

以上

本件に関するお問合せ先：イーピーエス株式会社 営業広報部 長岡・南 TEL：03-5804-7577

(参考)「EPSグループの海外展開」

当社は海外においても活発な活動を行っております。今回の開発に対する戦略的コンサルティングを含めた受託体制の強化とあわせて、海外事業の積極的な展開もはかっております。

当社は1999年3月に中国に子会社を設立し、北京および上海において活発な活動を行っております(社名：上海日新医薬発展有限公司)。

米国に向けた取り組みとしては、1999年11月に米国の臨床試験受託機関PharmaLinkFHK(<http://www.pharmalinkfhi.com>)と業務提携、インターネット・IT技術を活用した臨床試験の日本導入に先鞭をつけました。

2001年11月には非臨床試験関連業務を受託するエルエスジ株式会社を豊田通商株式会社より譲り受け、フィリピンにおいて非臨床試験業務に必須な動物の飼育および試験施設を展開、北米地域に対しては非臨床試験受託施設の代理店業務を行っております。

2001年12月にはシンガポールのSMOであるGCRC(Gleneagles CRC Pte.Limited)(<http://www.gleneaglescrc.com>)と業務提携、東アジアにおけるサービス拡充の足がかりをつけました。

そして本年4月にアジアの戦略拠点として、シンガポールにCRO子会社としてEver Progressing System Pte. Ltd.(略称：EPSシンガポール)を設立。北京および上海において活発な活動を行っている中国同様に、シンガポールにおいても独自の運営体制の構築を進めてICH(注1)の流れに対応し、第二相・第三相臨床試験、国際同時開発臨床試験を可能といたします。

今後は当社の中国業務部と上海日新医薬発展有限公司、EPSシンガポールが連携し、東アジアで一括してクライアントの海外開発を支援できるCROとして一層お役に立てる様努力してまいります。

注1)ICH 日米EU医薬品規制整合化会議
(International Conference on Harmonization of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Useの略語)日米EUの行政当局間で医薬品承認の基準の整合化を進めるための会議